

*本企画は「ひょうご環境保全創造活動」「街づくり夢基金」「関西学院大学長峯研究室」の助成金を利用しています

武庫川の 魚・水・つながり 第3弾

アユが遡上する武庫川づくり～フォーラム～

日時：2010年2月20日（土） 13：30～16：30（予定）

13時 受付開始（入口でアユの棲める武庫川づくりに対するご意見ご提案をご記入いただく用紙を配布しますので是非ご記入ください）

場所：宝塚市男女共同参画センター・エル 学習交流室1

（阪急宝塚駅下車すぐ ソリオ2の4階です）

プログラム：次頁参照（予定です）

話題提供：①武庫川のアユ生息調査中間報告――兵庫県宝塚土木事務所・コンサルタント

②武庫川下流の横断構造物の現状について――武庫流会から

パネルディスカッション――「テーマ：天然アユが生息できる河川整備計画を考える」

パネラー兼進行役：三橋弘宗氏（兵庫県立大学講師兼兵庫県立人と自然の博物館主任研究員）

パネラー：高橋勇夫氏（たかはし河川生物調査事務所所長）武庫川アユ調査指導

木嶋秀起氏（武庫川漁業協同組合代表理事組合長）

コメンテーター：山本義和氏（神戸女学院大学教授）西宮の津門川アユ調査指導

川合真一郎氏（甲子園大学教授）くろまぐろの健苗育成の研究等

資料代：500円

お問合せ及び申し込み：武庫川づくりと流域連携を進める会（略称 武庫流会）

*会場や資料の都合があり先着60名としますので裏面の申し込み用紙に必要事項を記入の上お早めにお申し込みください。

事務局：吉田博昭 tel&fax 06-6428-8626 メール yoshidahr@nifty.com

主催 武庫川づくりと流域連携を進める会 代表 田村博美

後援（申請中） 兵庫県阪神北県民局

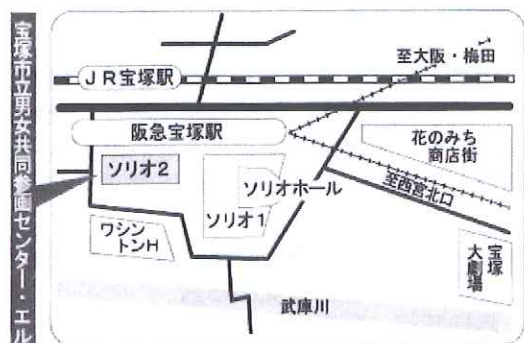
*わたしたちの武庫川を天然アユが遡上できるような魅力ある川にしませんか。

*現在兵庫県は武庫川の整備計画原案を作成し武庫川流域委員会に諮りつつあります。河川整備計画は今後20年～30年間の武庫川の整備の元となる重要な計画です。私たちはこの計画に昔のように天然アユが遡上し暮らしやすい河川環境を盛り込みたいと考えています。そのためには多くの課題を解決する必要がありますが、まず昨年兵庫県が実施しましたアユの生息調査中間報告から武庫川の現状を知ることから始めようとこのフォーラムを企画しました。是非ご参加ください！

また1/26（火）13時半～17時 尼崎市中小企業センター1階多目的ホールで第55回武庫川流域委員会が開催され武庫川水系河川整備計画（原案）が審議されます。皆さんお誘いの上是非傍聴ください。

近隣地図 フォーラム会場位置図

JR・阪急宝塚駅下車すぐ
「ソリオ2」4階が男女共同参画センターです。
*センターには駐車場がありません。ご来館には、バス電車などをご利用ください。



「武庫川づくりと流域連携を進める会」は、兵庫県武庫川流域委員会の有志を発起人として2007年4月に発足した任意団体で、武庫川づくりに関わる多くの取り組みをしてきました。

■フォーラムプログラム(予定)

- 午後1時受付開始 入口で「武庫川づくり」とくに天然アユ遡上に向けた問題点、課題、提案、質問等を記入いただくポストイットを配布しますのでご記入して所定の場所に入れてください。
- 午後1時半 開会の挨拶
- 午後1時35分～2時25分
第1部 ①兵庫県による調査結果中間報告(宝塚土木事務所河川対策室)40分間
②武庫川下流の横断構造物の現状について(武庫流会)10分間
- 午後2時25分～3時25分 60分間
第2部 パネルディスカッション—テーマ:「天然アユが生息できる河川整備計画を考える」
①三橋氏から「武庫川の生物生息環境に対する課題や問題点について」お話しいただく
②三橋氏が進行役となり二人のパネラーにお話しいただく
パネラー:高橋氏から「県の調査結果を踏まえた課題と問題点、今後に向けたアドバイスなど」をお話しいただく
パネラー:木嶋氏から「県の調査結果に対する感想や漁業者からみた武庫川の課題、問題点について」お話しいただく
3名のパネラー間で議論していただく
③県の調査及びパネラーの議論を踏まえてコメンテーターにご意見をいただく
コメンテーター:山本氏、川合氏
- 午後3時25分～3時35分 休憩 10分間
- 午後3時35分～4時20分 45分間
第3部 質疑応答(会場からの質問や提案を交えてパネラー、コメンテーター含めて全員で議論)
- 午後4時20分～25分 三橋氏のまとめ
- 午後4時25分 閉会の挨拶 午後4時30分 閉会 解散予定

■講師等略歴(順不同)

高橋勇夫氏:1957年高知県生まれ。長崎大学水産学部卒業。農学博士。1981年から西日本科学技術研究所で水生生物の調査とアユの生態研究に従事。2003年同社を退社し「たかはし河川生物調査事務所」を設立。同時に天然アユの資源保全活動を開始。天然アユ保全ネットワーク世話人。著書に「ここまでわかったアユの本」「天然アユが育つ川」(築地書館)。今回の武庫川のアユ調査を指導された。

木嶋秀起氏:武庫川唯一の漁業協同組合である武庫川漁業協同組合代表理事組合長として、長年武庫川への稚アユ放流事業や兵庫県の内水面漁業の発展に向けて活動し、多くの実績がある。兵庫県が武庫川のアユ調査に今回取り組むきっかけを作られた。

三橋弘宗氏:1970年京都府生まれ。1997年京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。現在の所属:兵庫県立大学自然・環境科学研究所講師。および兵庫県立人と自然の博物館主任研究員。現在の専門分野:河川生態学、保全生態学、博物館学。主な活動:円山川自然再生委員会、千種川水系河川整備計画検討委員。GBIF(地球規模生物多様性情報機構)技術専門委員会など。主な業績:自然再生ハンドブック(地人書院、共著)、保全生態学の技法(東京大学出版会、共著)など(いずれも近刊・3月)

山本義和氏:1945年山形県生まれ。農学博士。1968年京都大学農学部水産学科卒。同大学院修士・博士課程終了。現在の所属:神戸女学院大学人間科学部教授(学長)、環境・バイオサイエンス学科教授。

現在の専門分野:水圏環境科学。主な活動:兵庫県農林水産技術総合センター外部評価委員。西宮市環境審議会委員他。主な業績:水生生物と重金属(銅)(サイエンティスト社)、第3版・明日の環境と人間～地球を守る科学の知恵～(川合真一郎氏と共著、科学同人)ほか。

川合真一郎氏:1943年大阪府生まれ。農学博士。1966年京都大学農学部水産学科卒。1971年同大学院博士課程終了。神戸女学院大学家政学部教授(学長)を経て。現在の所属:甲子園大学栄養学部フードデザイン学科教授。

現在の専門分野:水圏環境科学。主な活動:兵庫県のり漁場環境予測モデル検討委員。西宮市南部地域治水対策委員会委員ほか。主な業績:海の環境微生物学(共著、恒星社厚生閣)、微生物の利用と制御(共著、恒星社厚生閣)他

■当フォーラムへのご参加をご希望の方はご氏名住所等連絡先を添えて下記までお申し込みください。

武庫川づくりと流域連携を進める会

*個人情報は目的以外には使用しません

事務局 吉田博昭 尼崎市大西町3丁目11-15TEL&FAX 06-6428-8626 メール: yoshidahr@nifty.com

2/20 武庫川アユ・フォーラム参加申し込み書

・氏名	・住所・電話・FAX・メールアドレス等	・所属